

授業科目名 ( 英文名 )	身体表現実習 ( Dance )	科目区分 対象学生	
単位数	1.0	開講年次・ 学期	3年次・前期
担当教員	矢野 真理	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>本講義は学校教育における身体運動(ダンス)の理論ならびに基礎的技能を修得し、それらの特性を理解することを目的とする。また、指導技術、指導上の留意点等について学習する。</p> <p>到達目標は、1)学習指導要領におけるダンスの位置づけについて説明できること、2)ダンスの基本的な技術を修得すること、3)仲間と一緒に踊ることや創ること観ることの楽しさや喜びを味わうことができるようになること、である。</p>		
講義内容・授業計画	<p>踊りの基礎となるバレエの動きからさまざまなダンス(創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンス)へと応用する。単なる身体表現技術だけでなく、個人の感覚、感情を表現できる創造力を身につけ、指導することができるようにグループで練習を重ねる。</p> <p>第1回:身体について 基礎テクニック(ポジション)  第2回:身体表現とは 基礎テクニック(バレエ)  第3回:ウォーミングアップ (ダンスストレッチ)  第4回:ウォーミングアップ (アイソレーション)  第5回:音楽と身体表現 (リズム・アクセント・強弱)  第6回:フォークダンス(多様なステップや動き)  第7回:現代的なリズムのダンス1(リズムの取り方)  第8回:現代的なリズムのダンス2(動きの組み合わせ)  第9回:創作ダンス1 (感情の表現)  第10回:創作ダンス2 (ストーリーを考える )  第11回:創作ダンス3 (音楽の選定)  第12回:創作ダンス4 (振付)  第13回:中間発表・鑑賞  第14回:創作ダンス5 (構成・練習)  第15回:ダンス発表・評価</p>		
テキスト	プリント資料を配布予定		
参考文献	中学校ダンス指導のコツ 菊池由見子監修 ナツメ社		
成績評価の基準・方法	<p>ダンスの特性を理解し、ダンスを通して自己表現ができる者に単位を授与する。講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>成績評価の方法  授業内レポート・練習・発表への取り組み50%、身体表現発表・学生間相互評価50%を基準として、受講態度(積極的な質問等)を含めて総合的に評価する。</p>		
履修上の注意・履修要件	中学校保健体育教員免許取得希望者は、受講必須です。		
実践的教育	該当しない		
備考	体育館で実施します。運動のできる服装と室内用シューズを用意してください。		